



令和3年(2021年)春 No.349

[緑陰読書]

こども図書館とまんが図書館では、他の館・室にはないサービスを行っています。天気のいい日は、屋外で読書を楽しんでみませんか。

こども図書館

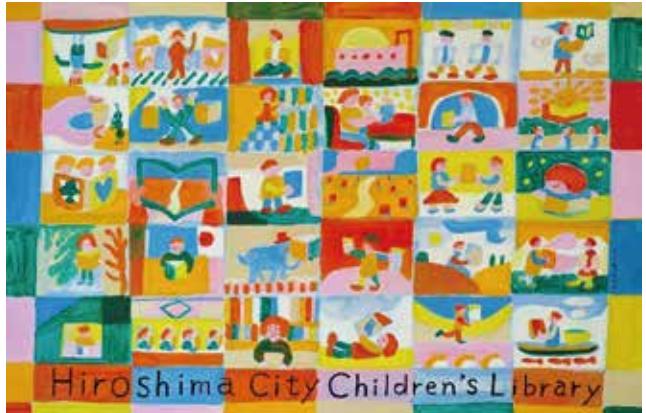
令和2年（2020年）10月17日から、こども図書館で「緑陰読書サービス」が始まりました。

カウンターで申し込むと、一人10冊まで屋外に持ち出し、当日の午後5時まで、周辺の公園などのベンチや木陰で読むことができます。一人でまったりと、また、家族で輪になって読み聞かせるなどお好み次第です。

春になると公園の花壇には色とりどりの花が咲きます。自然と新鮮な空気を感じながら、館内では味わえない心地よさがここにあります。



オリジナルレジャーシート→



サービスを利用する方には、広島県出身在住の画家 nakaban さんデザインのオリジナルレジャーシートの貸出も行っています。

まんが図書館

まんが図書館のある比治山は、山全体が比治山公園として親しまれ、広島市の中心部の間近にありながらも緑あふれるエリアです。展望台からは市内が一望でき、桜の名所としても知られています。

まんが図書館では、玄関前の屋根付きのベンチや公園の木陰で、ゆっくり読書に親しむことができます。これは、立地条件を生かして、前身である青空図書館から続いているサービスです。

こども図書館と同様、どなたでも、一人10冊まで、当日の午後5時まで利用できます。

やわらかな春の光に心躍る季節になりました。
さわやかなそよ風に吹かれながら木陰での読書はひと味違います。



広島市立図書館

図書館司書がおすすめするこの1冊！「いろいろな場で本に親しもう」

児童書

『ぼくのブック・ウーマン』

ヘザー・ヘンソン／文
デイビッド・スマール／絵 藤原 宏之／訳
さ・え・ら書房 2010年



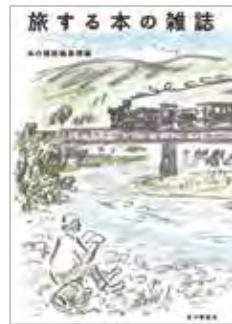
カルの家は、山のずっと高いところにあります。学校も遠くて、なかなか通えません。ある日、馬に乗った女の人が、カルの家にやってきました。本がたくさん入ったバッグを持っています。勉強の苦手なカルと違って、本の大好きな妹は目を輝かせました。雨の日も雪の日も、険しい道を登り、彼女は本を届けにやってきます。その姿に、本は役に立たないと思っていたカルの心は、少しずつ変わっていくのでした。

「ブック・ウーマン」と呼ばれる、町から遠く離れた家々に本を配って回った図書館員たちの、献身的な活動が描かれています。

一般書

『旅する本の雑誌』

本の雑誌編集部／編著
本の雑誌社 2018年



いつもと違う場所で読書をしませんか。

全国の書店店主や編集者などの本に関わる本好きたちが、本好きに贈る旅のプランを紹介しています。

地域別のプランでは、著名な作家ゆかりの地や作品の舞台をめぐります。他にも、電車や飛行機、珈琲店や旅館などでの読書を語るエッセイ、読書でめぐる星空散歩や音楽の旅とバラエティ豊かです。巻末の、本好きに響くお土産や旅の心得、オススメ文学館リストも見逃せません。

行きたい場所探しに、また旅先に持って行っても楽しめる読み物になっています。

この日は何の日？



5月25日は 「納本制度の日」

納本制度とは、図書等の出版物をその国の責任ある公的機関に納入することを発行者等に義務づける制度のことです。わが国では、国立国会図書館法により、国内で発行されたすべての出版物を、国立国会図書館に納入することが義務づけられています。

納本された出版物は、現在と未来の読者のために、国民共有の文化的資産として永く保存され、日本国民の知的活動の記録として後世に継承されます。（国立国会図書館ホームページより）

国立国会図書館は、昭和23年（1948年）5月18日に、6,000通に及ぶ納本の依頼状を出版社・団体等へ発送し、5月25日に納本の受付を開始しました。そして、納本制度60周年を記念し、平成20年（2008年）に、この5月25日を「納本制度の日」と定めました。

現在、民間の出版社からの図書、新聞、雑誌をはじめ、CD-ROM等の電子出版物、国や地方公共団体等からの年鑑や要覧、私立大学や企業からの学会誌や紀要など、毎週約1万点もの出版物が納入されています。これらは、国立国会図書館オンライン等で検索できるとともに、国立国会図書館東京本館、関西館、国際子ども図書館の、収蔵に最適な環境下で永く保存されます。

編集・発行

Hiroshima City Central Library

広島市立中央図書館

（公益財団法人 広島市文化財団）

〒730-0011 広島市中区基町3番1号

<https://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542

本の照会・相談専用 082(222)6440

F A X 082(222)5545

（携帯電話 <https://www.library.city.hiroshima.jp/m/>）

（スマートフォン <https://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>）